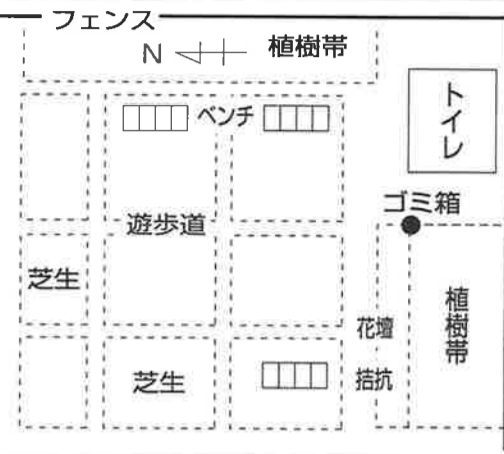


3月16日

高齢者層との話し合い

花壇なくても納得	85.7%
遊具で広場の縮小納得	100.0%
広場どの仕様でも納得	100.0%
ゴミ箱なくても納得	100.0%

高齢者層のイメージ図



# 公園イメージはできた

## 規格の公園よりも芝生や遊歩道

### 学区民のふれあいと防災の広場も 京都や地域の景観への調和

納得のできる公園イメージしぼれた

アンケートの回答のなかで、わざわざ寄せられたご意見や、各層の話し合いの結果をよく頭に入れて、自分たちの公園デザインをまとめたのと考えている。また、正反対の考え方を含め、多様な意見をまとめる手順は、社会情勢、精神的物

質的環境保全など、いろんな参考情報を提供して『修徳』第四号3面参照)学区民各層が話し合いのなかで判断し、他の層のイメージで納得できたという点でまとめた。

各層の公園図の見方

各層の公園イメージ図の見方を理解していただく。周囲の濃い線分には、必要

五百通を超えるアンケート回答をいただき、学区民各層それぞれがイメージする『公園』を抽出した。公園イメージの納得できる範囲も参加した各層別の意見で確定した。各層からでたどのイメージでも、納得できるといって了解も得た。あとは、公園のデザインを実際に描いてみることになる。

# 修徳

題字：伊藤博文

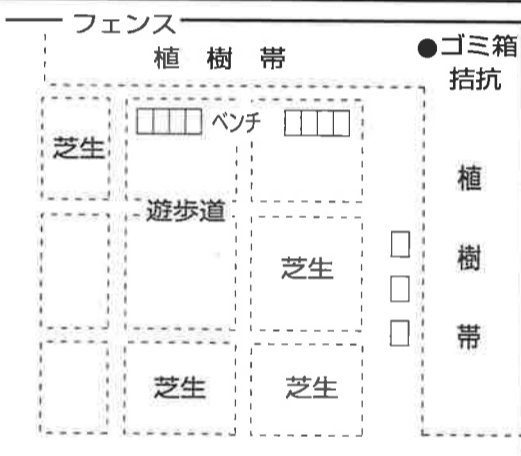
発行所  
修徳自治連合会  
まちづくり委員会  
発行代表者 篠原 實  
発行責任者 平井 常夫  
編集責任者 小西 宏之  
印刷所 (有)章美プリント

3月22日

近隣町内会との話し合い

花壇できても納得	88.9%
遊具で広場縮小納得	77.8%
一面芝生でもどの広場仕様でも納得	55.5%
ゴミ箱なくても納得	100.0%

近隣町内会層のイメージ図



『フェンス』として必要なのは、フェンスが必要とする回答が不要とする回答を五割以上、上回っていることを意味する。その逆が『フェンスなし』である。『植樹帯』は植樹の「テーマ」を決めて木を植える」が多数を占めている。他の例も同様であるが、『花壇』とあれば、花壇を必要とする回答が過半数ということである。『植樹帯』とあるのは、必要

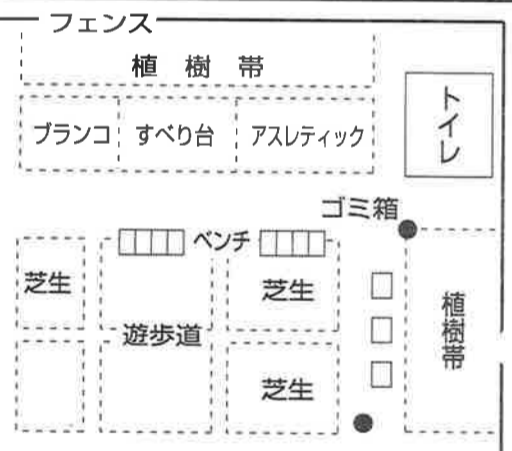
『フェンス』として必要なのは、フェンスが必要とする回答が不要とする回答を五割以上、上回っていることを意味する。その逆が『フェンスなし』である。『植樹帯』は植樹の「テーマ」を決めて木を植える」が多数を占めている。他の例も同様であるが、『花壇』とあれば、花壇を必要とする回答が過半数ということである。『植樹帯』とあるのは、必要

3月29日

子供の母親との話し合い

花壇できても納得	100.0%
一面芝生なら納得	75.0%
ゴミ箱なくても納得	100.0%

### 子供の両親層のイメージ図



4月13日

体振、防災関係者との話し合い

スポーツ施設の周り	
フェンスなし納得	75.2%
遊具で広場縮小納得	75.0%
一面芝生でも	
どの広場仕様でも納得	75.0%
ゴミ箱なくても納得	87.5%

『遊具』設置で、広場部分が縮小しても納得しているが、植樹帯のなかなど、樹帯のなかなど、小しなくてもいい方法を考えた

公園に『ゴミ箱』『トイレ』も、ないほうがいい場合もあると納得していただいた。

にすぎないが、『その絶対多数の納得』は、統計の考え方で、『全体の納得』の縮小であると断定してもよい。『花壇』がいらない層も、話し合いのあと、栽培グループができて美しく管理できるなら、『花壇』があってもいい」と納得していた。『花壇拮抗』のうちは、『花壇拮抗』の場合、『花壇拮抗』がなくてもいい」と納得していただいた。

これも、『フェンスがあっても納得する』了解を得た。アンケートでは、近隣町内会のなかにも、『フェンス』の設置に反対の回答がある。それほど、多様な価値観のなかで、近隣町内会としての意向を決められた経過も考慮し、ご相談しながら、公園デザインを作成する段階で、フェンスと入り

『広場の仕様』については、全体として『区画芝生』の意向が強いが、各層との話し合いを通じて、『一面芝生』と、平面の『区画芝生』との選択が残された。それと、修徳学区民の『ふれあい広場、自主防災訓練』消

4月18日

一般学区民との話し合い

(主として、20才以上70才未満)

花壇なくても、どちらでもいい	80.0%
フェンス不要だが設置されても納得	90.0%
遊具で広場縮小納得	70.0%
区画芝生平面で納得	50.0%
一面芝生で納得	20.0%
ゴミ箱なくても納得	80.0%

### テニスコートもできる広場

『テニスコートもできる広場』というアイデアとして貢献する福祉関係だけで、『福祉のまち』とはいえない。まちの活性化のための経済的関係が必須である。□市と接点を探る必要がある。□『京都市基本構想』は企業でいう『経営方針』のかわりに、縦割り行政の仕事に共通の基盤を与える。□市政の各部門がこの構想をよく理解していないと、市民の創造性をつぶす。□いま企業のなかには、ヒラ社員が社内のLANのeメールなどで社長に直接提言し、指示を受けるところも多くなってきた。経営方針を理解しない上司の指示は無視されてしまう。□いま、多様な価値観をもつ個性が行政や企業を動かす。□地域から世界へ情報は発信される。

### 遊歩道からの視線

□岡本祐三氏が言う。(『高齢者医療と福祉』岩波新書) スウェーデンなど北欧諸国は社会福祉の水準だけでなく、生活水準も非常に高い。□経済成長を阻害しているのは、福祉への負担の大きさはなく、福祉の不足である。□百人の高齢者が住む『特別養護老人ホーム』をつくる。□国や県の補助金は別にしても百人の生活・介護費用は年間数億円、食料、衣料、電気製品などの購入で、地域の商店におちる。職員数十人を雇用しても給料も地域におちる。□老人ホームがあれば、『福祉のまち修徳』になるわけではないのではないかと『老人ホーム』に、ボランティアとして貢献する福祉関係だけで、『福祉のまち』とはいえない。

# 学区民各層が語るわたしの公園

## こんな公園にしたい

### 憩いと交流

- 幼児や高齢者が芝生や花や緑を楽しみ、こころが癒される憩いの公園。
- 憩いの場や話し合いの場ができれば、なによりです。
- 特養老人ホームの高齢者と、児童館のこどもたちが使いやすいものにしたい。
- 公園は広場的なほうがいい。ふれあい広場ができればいい。
- 生の芝生があり、ゆっくりできる公園。
- 年がたてば、だんだんよくなる『町内の庭』という感じで作ってほしい。
- 遊歩道と芝生があれば、お年寄りや子供たちとの交流ができる。

### 明るさと治安

- 綾西公園は暗い印象で、明るい公園にしてほしい。
- 公園は照明をつけて明るくしてほしい。
- 恐怖感のない、昼も夜も明るい公園。
- 得体の知れない人、ホームレス、シンナー遊びなどの非行の若者などが入ってくる不安に、対策が必要である。
- 防犯上の問題もあり、樹木もなにもいらぬ。見通しのよい、あっさりとか何かひとつにしようってつければ！

### イヌ連れて入るな、入りたい

- 犬の出入りは衛生的にする注意がいる。
- 犬を絶対連れ込まない清潔で安全な公園。
- イヌと一緒に散歩できる『スペース』を指定して、入らせてほしい。

### こんな公園いかが

- ウイングスの隣の公園のような、真ん中の広くあいた公園がいい。
- 緑豊かな公園がよく、鍵のかかるような公園はよくない。
- 樹木があり、芝生があり、清潔な公園がほしい。きれいな場所がほしい。
- 昔の空地のように、自然に、こどもが遊べて、清潔で魅力のある公園。
- 都心部の森、土の広場、どんぐりの木など植え、こどもが自然に親しむ公園。
- 小川や池に、小鳥が飛びかう公園。
- 四季のうつろいがわかる公園。
- せせらぎのある公園はいかがですか。
- あまり整備された公園よりも一面芝生とかドッチボールなどのボール遊びができる公園。
- どのひとにも合う仕様は無理です。
- 一部のひとが使う公園には反発がある。
- 幼児だけのための公園はもったいない。
- 最近のこどもは公園にいかない。

## 公園設備こんな風に

### 植樹帯の仕様

- 商業地区で緑が少ない。できるだけ多く木を植えたほうがよい。
- 植樹は虫のつかないものを選んでほしい。
- 桜は多数の希望があっても、やめたい。
- 木はうぐいすなどがくる木を植えてほしい。
- 花は草花よりも、木の花がいい。
- 道に葉が落ちて、苦勞した経験がある。木を選ぶのにも注意したい。

### 花壇

- 石垣をつくり花壇ができればいい。
- 花壇は手入れ、管理が大変。

### テニスコートの実績と広場

- テニスコート、グラウンドあるなら遊具はいらぬ。グラウンドないなら遊具要る。
- テニスコートは一面ぜひほしい。昭和59年以來ナイターでテニスをやっている。
- テニスをやっているのでコートほしい。
- テニスコートの芝生は人工芝に砂を入れたオムニがよい。
- 広場は一面芝生の方が利用の幅が広い。

### 遊具

- 砂場は蓋つきにでもしてほしい。子育ての会話にかかせない。
- 保育園児はブランコ、すべり台喜ぶ。
- すべり台とかはほしい。砂場のかわりにアンツーカーなどでこられるのもよい。
- 大がかりな設備は不要だが、こどもが遊べる施設はほしい。
- 近くにいい公園がない。アスレチックとブランコあるほうがよい。

### ベンチ

- ベンチは植樹帯のなかがいい。
- ベンチはひじ掛けにすると、ねそべれない。

### フェンスの仕様と管理

- フェンスは生け垣がよい。
- フェンスは見通しのよいものが要る。
- フェンスあるほうがかっこよくきれい。
- 施設のひとがその施設の公園と認識すれば、フェンスや入口の管理もしてもらえ。
- 万寿寺通でもフェンスをしてほしい。公園で用心が悪くなる。
- フェンスは乗り越えて入れるようなら、かえって用心が悪い。
- フェンスなしで、開放的で、木が植わっているのがいい。フェンスは狭苦しく感じる。
- バイクや自転車が入れないような、フェンスは要る。不法駐車、駐輪対策が必要だ。

### トイレ

- トイレは公園内につくると、タクシーの溜り場になる。
- トイレの不潔さは気になる。要らない。

## こんな気配りも

- ナイターのテニスのボール音など、老人ホームがやかましくないのか。
- 消防分団の午後9時頃までの大声は、いいのか。
- 消防分団としては、(1)避難場所を広くとる。(2)訓練のための夜間照明がほしい。(3)防火水槽の2m以内には、花壇や植木は困る。

〔注〕アンケートの特記内容で多い意見も含む。〕

## 修徳公園(仮称)意見交換会

### ご出席者名簿

藪下町 藪野 平夫	瀬野 平夫	龜屋町 中村 弘一	渡辺 栄蔵	布屋町 榎本 禎三	富田 隆弘	中谷 亮	堀川 淑江	丸井 栄子	山本 良雄	月見町 上田 真帆	棚部 真帆
平岩 真治	上出 隆一	浅野 三朗	榎田 早苗	宮川 博子	中野之町 元岡 賢一	徳万町 佐倉 道彦	青山 典生	今井 栄一	大辻 泰弘	新庄 明豊	田中 明豊
小田原町 小塩 史子	内藤 友也	中村 哲也	中村 美子	福井 謙三	水本 高史	水本 高史	水本 高史	水本 高史	水本 高史	水本 高史	水本 高史
御供石町 酒井 悦子	森 修彦	吉田 金彦	大江町 高向 孝	深草町 山本 弘一	谷山 新一	篠原 常夫	小井 常夫	小林 勲夫	近森 佐太郎	桜田 佳正	松本 祥男
川上 和子	事務局(受付)	小西 宏之	中村 順恵	松村 祥男	中村 順恵	中村 順恵	中村 順恵	中村 順恵	中村 順恵	中村 順恵	中村 順恵
美起子	小田切 美起子	中村 美代子	高砂町 都倉 昭蔵	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子	玉屋町 中村 美代子

## 点論 市民こそ施策の主役 行政が支えるしくみ

### 学区民の多様な価値観は 役員だけで担い切れない

いま、生活そのものが多様な価値観に支えられているのと同様に、公園にも、ひとびとは、それぞれが多様な使い方を期待している。自治連合会の役員の数だけ価値観を担い切れない。学区民の多様な価値観を担い切れない。アンケートへの回答の集計を終え、学区民各層との話し合いもした。話し合いに参加したひとたちの仕様変更の了解ももらった。フリーハンドといってもよい内容になっている。しかし、具体的に絵を描こうとする

### 公園づくりの手順が まちづくりに生きる

と残された問題も多い。「どんな木をどれだけ植える」、「花壇の栽培グループができるか」、それで花壇が美しく保てるなら、「花壇の位置と仕様」、「広場の芝生」、「遊歩道とベンチの位置と仕様」、「遊具の種類、材質、色、位置」など、すべて公園の景観全体を左右する。

### 仮に公園ワークシヨップが、魅力的なデザインをつくれなかったとしても、この経験は『まちづくり』に繋げることができ。まちの企業や商店を活性化して、まちの『華やき』を表現できるか。コミュニケーシヨンを豊かにできる弱者の生活道路づくり、町並みの保存やマンションの規制、ビルの形や色の指定などでまちの『安らぎ』をつくれるか。このまちづくりの作業は、学区民の各層、企業や商店の皆さんが集まってもらって、ワークシヨップで知恵を集めるほかはない。

あわせて『設計することで価値観が衝突して、同じ『魅力ある公園』でも期待するものがこんなに違うのかと、わかるかとするのも大切なことである。

### 愛媛県の五十崎のワークシヨップの実例では、近くの小田川のコンクリート護岸工事直前に、魚が住める自然な川を守ろうとスイスまで研究に行つて、石積みでも護岸効果が落ちないことを確かめて、みんなが受け物石を持ち寄つてまで熱意を示した。そのまちづくりのワークシヨップに参加していた建設省の技術屋さんも住民の『近自然工法』にこころを動かされて、『多自然工法』という護岸工事の実現にこぎつけた。いまは、この工法が河川の護岸工事の主流になっている。

この手法は、京都市が『まちづくり』のために策定した『京都市基本構想』で指摘する『政策の立案と決定、施策の実施とその評価の全段階で、市民と行政とがともに責任ある主体として協力し合っているしくみ』そのものである。この際、行政の支えも得て、公園デザインのワークシヨップを立ち上げたものである。

## 編集後記

『民主的に物事を運ぶのに、多数決は、説得力があることには間違いはない。』  
 ■ただまちづくりや公園づくりのように、多様な価値観を併存させる内容にはなじまない。■少数のひとたちや弱者の利用形態の無視や、内容を創造性の高いものにするのに障害となる。■創造性は、まだ誰も気がついていないデザインの表現を意味する。■みんなが潜在的にもっている創造的な価値観をどう引き出して、魅力ある景観を醸し出すか。■公園に限らず、デザインを描くおもしろさはそこにある。

## 『京都市基本構想』紹介

昨年十二月に、樹本京都市長の諮問によって策定され、市会が全会一致で採択した『京都市基本構想』(副題『二十一世紀・京都のグランドビジョン』)は、その『第3章市民が活躍するまち』で、『地域社会が抱えるさまざまな課題は、地域社会の一員としての住民が主体的に発言し、調整し、解決』するものとして掲げられている。しかも『複雑で多面的な構造をもつ現代社会においては、市民のそれぞれの価値観に基づいて、市政への期待や要望も多様化してきている。そのような多様な『市民の意思』が『より直接的に反映されるためには、市民が『ひとひと』のどのような結びつきや

『幸福な暮らしを手に入れることができるのかを、自分たちの問題としてしっかりと考えていきたい』と、『市政参加のしくみ』は、ひとつは、従来の自治連合会組織、もうひとつは『市民の自発的な活動によって組織された多面的なネットワーク』とする。そして『市民の市政参加が実現されていくためには、政策の立案と決定、施策の実施とその評価の全段階で、市民と行政とがともに責任ある主体として協力し合っているしくみ』、市民が『直接に異議を唱え、代替案を提示できるしくみ』をつくる必要があると指摘している。

(まちづくり広報室)

## 学区民主体のまちづくり